

やっぱり 看護が好き

vol.

77

2023.3.1

看護のお仕事応援フェア・レポート

看護のお仕事応援フェア

就職相談会

復職支援研修ご案内コーナー&相談コーナー

実技体験コーナー

「就業・定着奨励金」制度Q&A

無料職業紹介所規定の通知について

離職者対象の復職支援研修

アウトリーチ型定着促進支援事業

第4回プラチナナースセミナー報告

2022年度研修報告と2023年度研修案内

一日看護体験学習

公式SNS始めました

東京都ナースプラザ

📣 看護のお仕事応援フェア・レポート

～2022年11月12日(土)・御茶ノ水ソラシティホール～

東京都ナースプラザでは、「ずっと看護職～新しい出発を応援します!～」をテーマに、看護のお仕事応援フェアを開催しました。お天気にも恵まれ、10時30分の開始とともに多くの人々が訪れ、来場者は373名で盛況裡に終わりました。今回はこのフェアについてレポートします。



会場となったソラシティ1階入口では、フェアの立て看板がお出迎え。2階のソラシティホールでは、プラザのスタッフが来場者の案内や対応を行っていました。



2階の総合受付で就職相談会の案内書とスタンプラリーのご案内が入ったトートバッグを受け取ります。A4の書類が入る使い勝手のよい5色のトートバッグです。



2階のロビーには、各種相談コーナーと復職支援研修の案内コーナーが設けられ、相談を待つ人や就職相談会を申し込む人などで賑わっていました。

「看護職の確保につなげるために、施設のご担当のみなさまには期待を込めてお集まりいただいていると思います。今日は予想を上回る来場者数ですので、ぜひよい職員の確保につながる機会にしていただければと思います」



佐藤浩子 所長

会場となった御茶ノ水ソラシティホールは地下鉄やJRの駅から近く、アクセスのよい場所にあります。この日は朝から快晴で、来場者の出足も好調でした。

「実技体験コーナー」と「就職相談コーナー」は午前と午後の2部制となっていました。「実技体験コーナー」の中には整理券を配布するほど人気のものもあり、順番待ちの行列ができたほどでした。

正午からの「ふれあいナースバンク就職相談会」と「プラチナナース就職相談会」に先駆け、東京都ナースプラザの佐藤浩子所長から挨拶がありました。

参加者アンケートより①



ホームページやSNSなどの情報より、直接話を聞ける場があるのは見識が広がり、ありがたいです。



自分の今の状況とスキルで、どういう働き方があるのか、できるのかを具体的に知ることができ、いろいろな道が見えてきました。不安が少しなくなりました。



現場のお話を聞けてよかったです。

就職相談会

今回の就職相談会の特徴は、東京と立川のナースバンクそれぞれで年に4回開催している「ふれあいナースバンク就職相談会」と、定年前後の方のセカンドキャリアを支援する「プラチナナース就職相談会」を同時開催したことです。立川では23区外、東京では23区内の施設の相談会を開催していますが、今回は都内全域から、「ふれあいナースバンク就職相談会」には58施設、「プラチナナース就職相談会」には40施設、合計98施設が集まり、参加者にとってはさまざまな施設を一度に知る機会となりました。

この就職相談会が目的で訪れたという現在休職中のS・Mさん(40代)は、以前は病棟で働いていたそうですが、次は訪問看護への就職を希望しているそうです。「1年弱のブランクがありますが、実際に訪問看護ステーションの方とお話しできて、雰囲気はわかってよかったです。最近、就活も停滞気味だったので、もっと積極的にならなければというモチベーションにつながりました」と話してくれました。



また、「今、特養の方とお話ししてきたところですよ」というN・Fさん(60代)にお話を伺ったところ、「いくつになっても元気なうちは働きたいと思っていますが、体力的なことなど、条件に合うところはなかなか見つからずにいました」と、自分で探す難しさを語ってくれました。「でも、ここではプラチナナースを対象にした求人施設もたくさんあって、私の希望する働き方に合う施設も見つかりそうです」と、意欲的に次の求人施設との面談に向かわれました。



求人施設との面談は、横並びで行われます。このブースがホールに98カ所並ぶ光景は壮観です。ボードには各求人施設が趣向を凝らした展示がしてありました。



ホール隣の面談の待機室では、復職支援研修後に再就業した看護師の復職支援ストーリーの動画やYouTube動画が流されていました。



面談の順番が近くなると、ホールの廊下に並べられた椅子に移動し、面談を待ちます。

参加者アンケートより②



興味ある施設の方とお話しできてよかったです。



今後、看護職を続けていくためにどうしたらよいか悩んでいたのが、とても有意義な時間が持てました。看護職を続けていく決心と方向性が見えました。



一カ所でいろいろな就職情報が聞けて有意義でした。



ブランクを気にしていましたが、前向きになりました。

復職支援研修ご案内コーナー＆相談コーナー

研修やナースプラザのサポートに関する相談コーナーも充実していました。相談コーナーは「プラチナナース支援」、「就業相談・資格取得相談」、「就業・定着奨励金相談」と目的ごとにブースが設けられ、多くの人が相談に訪れていました。

熊本から東京に引っ越してきたばかりというN・Sさん(30代)は復職支援研修の相談をされていました。「しばらく看護職から離れていたもので、以前から興味があった訪問看護の1日体験を受講してみようと思いました」と話し、これから訪問看護ステーションと面談して、実際の話を聞いてみるのだそうです。

また、プラチナナース支援コーナーで相談していたY・Hさん(50代)は、定年退職後も長く働ける職場に



ついでの情報を聞いていたそうです。「今まで病院で働いていたので、医療施設で働くことばかり考えていましたが、係の人から2025年問題の話を聞いて、高齢者介護施設にも目を向けてみようと考えが少し変わりました」と、高齢者介護施設との面談を申し込み、就職相談会のホールへ向かいました。



プラチナナース支援のコーナー



プラチナナースセミナーの案内や職場体験会の紹介をしていました。

就業相談・資格取得相談のコーナー



再就業への不安や、キャリアアップについての相談を受け付けていました。

就業・定着奨励金制度を紹介するコーナー



2022年1月から新しく始まった制度だけに、「まずは話を聞いてみたい」という人が訪れていました。



相談に訪れた人には総合受付で配られたものとは異なるデザインのトートバッグとボールペンのお土産が用意されていました。

参加者アンケートより③



定年後の就活にとっても役立ち、助かりました。



輸液ポンプや経腸栄養などが、新しく変わっていることを知り、勉強になりました。



採血を体験したのは、20年のブランクがあるからです。今の新しい針や固定具の扱いを体験することができたのは貴重です。



復職に対して勇気が出ました！

実技体験コーナー

午前と午後の2回、実技体験が行われました。「スキンケアの実技」、「最新の経腸栄養」、「採血・静脈内注射の実技」、「輸液ポンプの操作と管理」の4つが体験できました。

午前中にいち早く採血・静脈内注射を体験してきたM・Mさん(40代)は、「今日はこの体験がしくて来ました。また病棟で働きたいのですが、ブランクがあるので手技が心配だったからです。実際にやってみると、すぐに勘を取り戻すことができ復職への自信につながりました」と、とても満足そうでした。

また、一通り体験ができたというT・Tさん(50代)は、今は医療度が低い仕事のため、実技面が衰えていないか不安を感じていたといいます。「5年間臨床現場から離れていたのに、全く自信がありませんでした。でもここで自分の癖を指摘してもらったり、指導し



てもらえたことで、勘と自信を取り戻すことができました。何より、これだけ多くの人が再就業に励んでいるのを見て、すごく刺激になりました」と話しました。

採血と静脈内注射の実技体験は、整理券を配るほど盛況で、この実技体験を目的に来場された方も多かったようです。

スキンケアの実技



皮膚・排泄ケア認定看護師による最新のスキンケア情報を聞いたり、腕モデルを使い、皮膚損傷を予防するテープ剥離剤や被膜剤の使い方などを体験します。

最新の経腸栄養



経腸栄養チューブのコネクタの最新情報や、胃管や胃ろうのチューブの使い方について説明を受けます。

採血・静脈内注射の実技



腕モデルを使い採血をする体験をします。また、血管確保も点滴ルートにつながるまで行います。

輸液ポンプの操作と管理



具体的な操作方法を教えることで、理解が深まります。

シリンジポンプの操作



シリンジポンプの操作方法を教える、実際に作動を体験します。



出口のボードには、アンケート表が貼られ、参加者によかった実技体験にシールをつけてもらいます。どのコーナーも「よかった」が多く、実技体験の人気の高さが表われていました。

「就業・定着奨励金」制度



お答えいただいた方: 東京都福祉保健局 医療政策部 医療人材課 ご担当者様

Q1 「就業・定着奨励金」制度が始まった背景と目的について教えてください。

東京都では2020年12月現在、約14万人の看護職員が就業していますが、高齢化の進展に伴う介護・在宅医療のニーズの高まりや医療技術の高度化・専門化、さらには新型コロナウイルス感染症への対応など、看護職員のニーズはますます増大しています。

そこで東京都では、ナースプラザにおいて無料職業紹介などの就業支援や復職に向けての各種研修を実施するとともに、2021年度からは定年退職前後の世代を対象とした「プラチナナース就業継続支援事業」を開始するなど、ライフステージに応じた看護職員確保対策を展開してきました。

また、2022年1月からは、これらの事業とあわせて、30歳代からの中堅層を中心に多様な就業機会の確保、プラチナ世代を中心に介護分野も視野に入れた再就業・定着を促進するため、奨励金制度を新たに創設しました。これにより、看護職員のみなさまへの再就業に向けた応援のメッセージとなることを期待しています。

Q2 看護職のみなさまへ期待すること、また、復職する方へサポートはありますか？

今や看護職員は、病院などの医療の現場のみならず、高齢者施設や訪問看護ステーション、障害者支援施設など、さまざまな分野の施設で求められる人材となっています。これまでの看護職としての経験を活かし、多様な職場で継続して活躍していただきたいと考えています。

復職に向けた看護職員のみなさまの不安を解消するため、東京都では実技研修をはじめ、病院や高齢者介護施設での職場体験などの取り組みを東京都ナースプラザで実施し、再就業に向けた支援を行っています。また、復職後も研修に関する情報をお知らせするなど、継続してキャリアをサポートしていきます。

Q3 看護職として再び働きたい、定年後も現役でいたい、と思っている方へメッセージを。

現役をいったん退いた方も含め、看護職のみなさまの知識・経験は社会にとってかけがえのないものです。ご自身のライフプランに合わせ、いつまでも現役ナースとして活躍し続けていただけたらと思います。

看護職のみなさまの思いを、東京都とナースプラザが応援しています!!

「就業・定着奨励金」制度の詳細は東京都ナースプラザホームページをご覧ください。

ナースバンク通信

無料職業紹介所規定の通知について

2022年10月から、eナースセンター新規登録時に「無料職業紹介所規定」を、文書でご確認いただくこととなりました。無料職業紹介所規定通知は、取り扱い職種の範囲、苦情処理に関する事項、個人情報の取り扱いに関する事項などを定めた文書です。

受け取り方法は、プロフィール入力時にメールあるいは紙面のいずれかをご選択いただきます。なお、紙面ご希望の際は、ご登録者様から返送用封筒(84円切手貼付)を送付いただきました後、ナースバンクから郵送いたします。

ナースバンク東京(西新宿)と立川では、就業・進学相談や就職相談会、ハローワークでの出張相談など、看護職の就業促進と定着支援のための事業を行っています。ぜひお気軽に、ナースバンクへお立ち寄りください。



離職者対象の復職支援研修

受講資格

- 保健師・助産師・看護師・准看護師のいずれかの資格を有している方
- 離職中で、就業先が決まっていない方
- 都内で就業を希望している方

無料です

コース	研修場所	研修期間	主な内容
病院体験	都内の病院	3日・5日 3日・5日(助産)	講義・施設見学 演習・病棟実習 就業相談
		1日(随時)	講義・演習
施設体験	高齢者施設 訪問看護ステーション 診療所	3日 1日(随時)	講義・施設見学 看護体験 就業相談

病院体験コースの演習は採血・点滴ルート確保を予定しています。
詳細は、東京都ナースプラザホームページをご覧ください。

アウトリーチ型 定着促進支援事業

中小規模病院の課題解決に向けた
取り組みに対して複合的な支援を行います。

ネットワーク研修開催

電話／メール相談

院内研修開催

事業にかかる費用は
全て東京都が負担します



事業参加病院

訪問支援



ナースプラザ



集合研修受講

看護管理者の皆様を応援します!

アウトリーチ型定着促進事業に関する
お問い合わせは、TEL 03-6276-1718
確保対策事業係までお願いします。

セミナー報告・第4回プラチナナースセミナー～2022年12月6日(火)～

「プラチナナースとして楽しく柔軟に働くには」

充実した第二の人生を考えるきっかけ作りを目指す「プラチナナースセミナー」の第4回が、2022年12月6日に東京都ナースプラザとWebによるハイブリッド形式で開催されました。

今回は、前日本看護協会会長の坂本すが氏を講師にお迎えしました。看護師として働く意義・なぜ定年後も働くのかを自らに問いかける講義内容に、参加者は「来年定年を迎えるが、ネガティブにならずセカンドキャリアを考えたい」「看護師になってよかった」と、元気をもらった様子でした。

2023年度もプラチナナースセミナーや職場体験会、就職相談会などを予定しています。みなさま、どうぞご参加ください。



2022年度研修報告と2023年度研修案内について

2022年度は、継続した学びが得られるように1年目から3年目までの看護職員への研修を計画しました。コロナ禍に学生時代を過ごした新人看護職員の研修には、初の試みとして「実習」を組み込みました。研修生からは、「実際の場で学ぶことができ、自身の業務に活かすことができた」という感想が聞かれました。

その他、コロナ禍により潜在看護職の復職が求められることから、再就業支援研修として「酸素療法の基本」研修を開催しました。2023年度は、どの職場でも多く関わる糖尿病に対して「糖尿病治療薬の基本」研修を計画し、再就業が進められるように考えています。

2023年度研修は、新システムへの移行のため例年より若干時期がずれ、2023年3月23日から東京都ナースプラザホームページでのご案内および応募開始を予定しています。ぜひ、ナースプラザの研修をご活用ください。



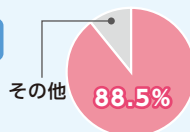
ナースのたまごたちへ【一日看護体験学習】

高校最終学年を対象として2022年5月23～27日、中学・高校・社会人を対象として2022年7月21日～8月1日に、一日看護体験学習を実施しました。2021年より135名多い716名が参加しました。

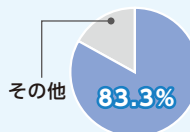
現場の情熱に触れ、中身の濃い看護体験ができました。未来のナースのためにご協力いただいた施設のみなさま、本当にありがとうございました。

2021年度参加者の進路状況

*返信数からの集計値



看護系へ進学した
高校3年生



看護系へ進学した
社会人

たくさんの方から進路決定の役に立ったというお声をいただきました。

2023年度の予定につきましては、決定次第東京都ナースプラザホームページに掲載いたします。

～東京都ナースプラザ公式SNS始めました～

研修のご案内から職場体験、就職相談、復職のことなど、東京都ナースプラザのイベント情報をたくさん発信しています。YouTube公式チャンネルも好評発信中。

東京都ナースプラザで検索 🔍 ぜひフォローしてください。

いいね
お待ちしてます!

東京都ナースプラザ公式SNS

最新の情報などをいち早くお知らせします/



Instagram



東京都ナースプラザ



Facebook



表紙の写真

てるてる坊主トンネル(田無神社)

台風などの災害なく農作物が成長することを祈念し、七夕のころに境内に飾られます。



つれづれ……

『看護のお仕事応援フェア』が無事終了しました。参加者をお待たせしたケースもあり、改善点もあったイベントでしたが、多くの方にご参加いただけて嬉しかったです。今後も東京都ナースプラザは知恵を絞って、看護職のみなさまの活躍につながる機会を用意させていただきます。

佐藤 浩子

東京都ナースプラザ(ナースバンク東京)

所在地: 新宿区西新宿 4-2-19

- 都営大江戸線 西新宿五丁目駅 出口A1・A2から徒歩4分
- 東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 2番出口から徒歩10分

ナースバンク立川

所在地: 立川市曙町 1-21-1 いちご立川ビル 6階

- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
- 多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ

検索 🔍

ホームページ

<https://www.np-tokyo.jp/>

Eメール

np@np-tokyo.jp



やっぱり看護が好き Vol.77(3月・9月の年2回発行)

発行: 東京都ナースプラザ 設置主体/東京都 運営受託者/公益社団法人東京都看護協会

所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-2-19 東京都看護協会会館 2階・5階

TEL 03-5309-2063 FAX 03-5309-2064

2023年3月1日発行

再生紙を使用しています

石油系溶剤を含まないインキを使用しています